

2016年度第3四半期 決算概要

2017年2月8日

三機工業株式会社

目次

決算のポイント	03
2016年度第3四半期 累計期間業績（連結）	04
セグメント別受注動向（連結）	05
セグメント別売上動向（連結）	06
セグメント別経常利益（連結）	07
四半期別業績（連結）	08
過去5年の業績推移（連結）	09
主要業種別受注動向（連結）	10
要素別受注動向	11
主な大型受注物件	12
10億円以上の大型受注物件（建物用途別）	13
利益改善要因と施策	14
貸借対照表（連結）	15
キャッシュ・フロー計算書（連結）	16
2016年度 通期業績予想（連結）	17
2016年度 セグメント別受注・売上予想（連結）	18
長期ビジョン “Century 2025”	19
中期経営計画 “Century 2025” Phase1 「重要課題と戦略」	20
三機大和地区再開発計画の全体像（STeP：Sanki Techno Park計画）	21
Sanki Techno Centerの概要	22
中期経営計画 “Century 2025” Phase1 「ESG方針」	23

決算のポイント

〈受注〉

大型物件受注の一巡化等により、特にビル空調衛生・電気を中心として建築設備全体の受注高は減少。前年同期に大型案件を受注したことにより機械システムが減少した一方で、環境システムは今期大型案件を受注し大幅増加となり、プラント設備全体の受注高は増加。全体では前年同期を下回った。

〈売上・利益〉

売上高は、ビル空調衛生を中心に全体で前年同期を下回った。一方で、利益面に関しては、売上高の減少に伴い営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益で減益となったものの、原価管理の徹底に加え作業効率の向上などにより、売上総利益率は引き続きの改善となった。

【全体業績】

SANKI

2016年度第3四半期 累計期間業績（連結）

- ・受注高は大型物件受注の一巡化等により、売上高とともに前年同期を下回る。
- ・営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は高水準であった前年同期を下回ったものの、前々年度同期比では増加し、売上総利益率は引き続き改善。

（単位：百万円）

	2014年12月	2015年12月	2016年12月	前年同期対比	増減率（%）
受注高	137,172	147,517	138,163	△9,354	△6.3
次期繰越高	122,738	127,033	129,988	2,955	2.3
売上高	122,653	122,503	114,563	△7,940	△6.5
完成工事高	121,670	121,264	113,289	△7,975	△6.6
不動産事業等売上高	982	1,238	1,274	35	2.9
売上総利益	9,678	14,146	13,710	△435	△3.1
完成工事総利益	9,433	13,845	13,431	△413	△3.0
不動産事業等総利益	245	301	279	△21	△7.3
売上総利益率（%）	7.9	11.5	12.0	0.5 _{pt.}	—
販売費及び一般管理費	11,183	11,709	11,885	175	1.5
営業利益（△は損失）	△1,504	2,436	1,825	△611	△25.1
営業外収益	1,150	960	904	△56	△5.9
営業外費用	359	318	274	△43	△13.6
経常利益（△は損失）	△713	3,079	2,454	△624	△20.3
親会社株主に帰属する四半期純利益（△は損失）	△207	2,045	1,578	△466	△22.8

【受注】

セグメント別受注動向（連結）

- ・ 建築設備は大型受注案件の減少等により、特にビル空調衛生・電気を中心に全体として前年同期を下回る。
- ・ 機械システムは前年同期に大型案件を受注したことにより減少。
- ・ 環境システムは今期大型案件を受注したことにより前年同期比で大幅増加し、プラント設備全体でも増加に転じた。（単位：百万円）

セグメント	2014年12月	2015年12月	2016年12月	前年同期対比	増減率 (%)
ビル空調衛生	57,864	56,509	50,074	△6,435	△11.4
産業空調	34,485	38,977	35,684	△3,293	△8.5
電気	19,218	18,239	14,570	△3,668	△20.1
ファシリティシステム	7,120	8,745	7,898	△846	△9.7
建築設備計	118,689	122,472	108,228	△14,244	△11.6
機械システム	4,492	8,684	5,689	△2,994	△34.5
環境システム	13,271	15,670	23,900	8,229	52.5
プラント設備計	17,763	24,355	29,590	5,235	21.5
設備工事計	136,453	146,827	137,818	△9,008	△6.1
不動産	912	1,148	1,189	41	3.6
その他	353	411	371	△40	△9.9
調整額*	△546	△870	△1,216	△345	—
合計	137,172	147,517	138,163	△9,354	△6.3

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

【売上】

SANKI

セグメント別売上動向（連結）

- ・特にビル空調衛生において減収幅が大きく、結果としてその次期繰越高は約65,400百万円とさらに増加。
- ・産業空調は引き続き好調で前年同期並みの水準を確保。

（単位：百万円）

セグメント	2014年12月	2015年12月	2016年12月	前年同期対比	増減率（%）
ビル空調衛生	50,235	45,088	39,264	△5,824	△12.9
産業空調	33,154	35,880	35,706	△174	△0.5
電気	14,449	15,573	14,271	△1,302	△8.4
ファシリティシステム	6,376	7,124	7,296	171	2.4
建築設備計	104,215	103,667	96,537	△7,129	△6.9
機械システム	7,437	5,811	5,908	97	1.7
環境システム	10,256	12,038	11,515	△523	△4.3
プラント設備計	17,694	17,850	17,424	△426	△2.4
設備工事計	121,909	121,517	113,961	△7,555	△6.2
不動産	912	1,148	1,189	41	3.6
その他	364	401	363	△37	△9.4
調整額*	△533	△564	△952	△387	—
合計	122,653	122,503	114,563	△7,940	△6.5

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

【利益】

セグメント別経常利益（連結）

（単位：百万円）

セグメント		2014年 12月	2015年 12月	2016年 12月	前年同期 対比	増減率 (%)
セグメント利益又は損失(△)	建築設備	△987	2,869	1,425	△1,443	△50.3
	機械システム	20	△77	45	122	—
	環境システム	△797	△867	△204	663	—
	設備工事計	△1,763	1,924	1,266	△657	△34.2
	不動産	176	164	147	△16	△10.2
	その他	35	52	25	△26	△51.3
	調整額*	838	938	1,014	76	8.1
	合計	△713	3,079	2,454	△624	△20.3

*セグメント利益又は損失(△)の調整額は各セグメントに配分していない全社損益等。

【全体業績】 四半期別業績（連結）

SANKI

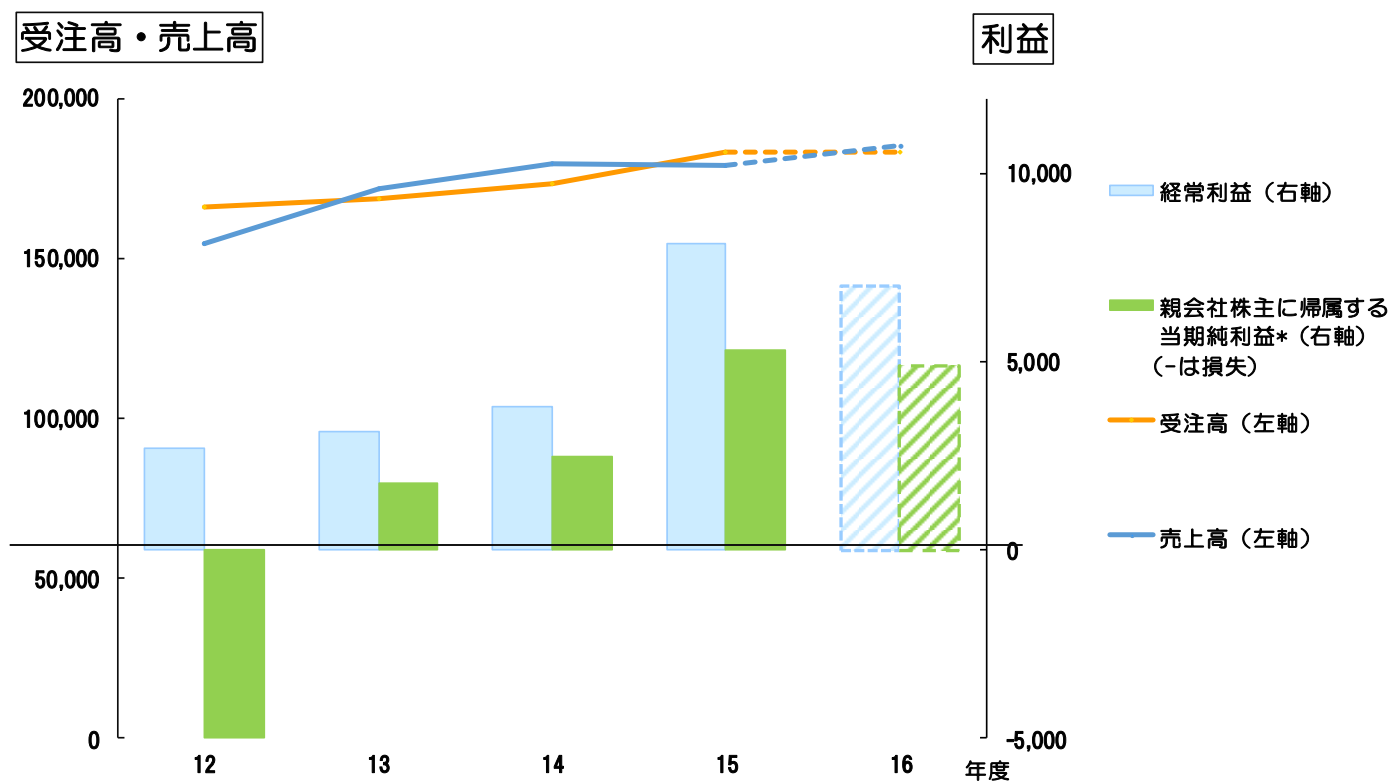
（単位：百万円）

	2014年度				2015年度				2016年度		
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3
受注高	42,489	38,758	55,923	36,226	46,385	52,820	48,311	35,753	55,338	35,573	47,250
売上高	32,825	42,682	47,145	56,945	34,495	40,985	47,022	56,397	33,866	36,474	44,222
売上総利益	1,700	3,224	4,753	8,287	3,291	4,812	6,043	8,783	3,905	4,238	5,566
売上総利益率（%）	5.2	7.6	10.1	14.6	9.5	11.7	12.9	15.6	11.5	11.6	12.6
販売費及び一般管理費	3,786	3,845	3,552	3,831	3,921	4,005	3,783	4,709	4,171	3,915	3,798
営業利益（△は損失）	△2,085	△620	1,201	4,456	△630	807	2,259	4,073	△265	323	1,767
営業利益率（%）	△6.4	△1.5	2.5	7.8	△1.8	2.0	4.8	7.2	△0.8	0.9	4.0
経常利益（△は損失）	△1,846	△478	1,612	4,522	△254	778	2,554	5,055	27	341	2,085
特別損益（△は損失）	—	△18	△116	△312	△55	30	96	△371	—	△32	△43
親会社株主に帰属する 当期純利益（△は損失）	△1,215	△111	1,119	2,669	△266	521	1,790	3,282	△2	232	1,349

【業績推移】 過去5年の業績推移（連結）

SANKI

（単位：百万円）



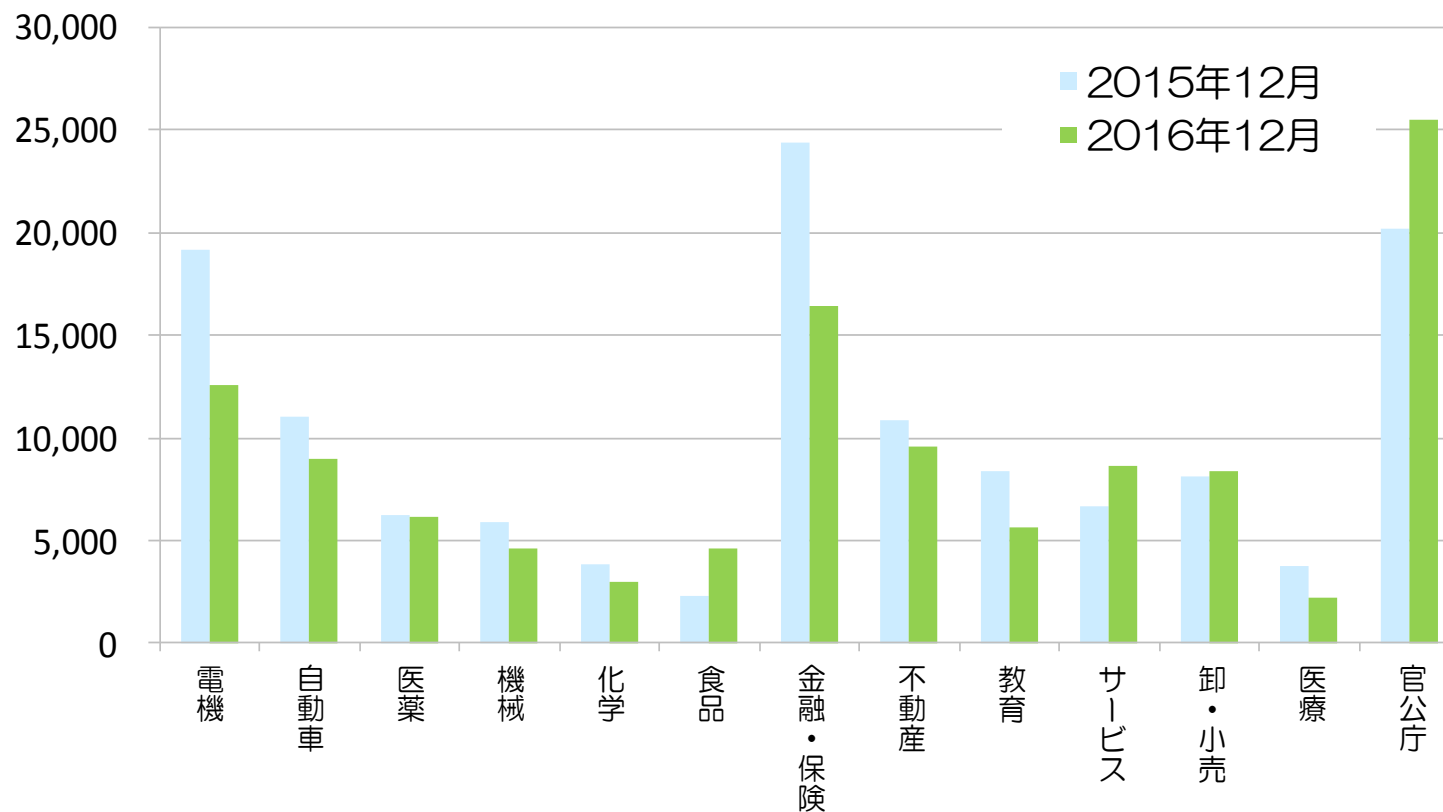
（予想）

【受注】

SANKI

主要業種別受注動向（連結）

（単位：百万円）



【受注】 要素別受注動向

SANKI

(単位：百万円)

	2013年度 通期	2014年度 通期	2015年度 通期	2015年 12月 A	2016年 12月 B	前年同期 対比 B-A
受注高（個別：建築設備）	137,027	143,708	145,069	117,229	103,753	△13,476
間接受注高（個別：建築設備）	73,608	68,963	72,751	59,494	41,432	△18,062
間接受注工事高比率（個別：建築設備）（%）	53.7	48.0	50.1	50.8	39.9	△10.9 pt.
受注高（連結）	168,295	173,398	183,270	147,517	138,163	△9,354
海外工事受注高（連結）*	3,055	2,931	2,343	1,744	1,018	△725
海外工事受注高比率（連結）（%）	1.8	1.7	1.3	1.2	0.7	△0.5 pt.
リニューアル工事受注高（連結）	88,473	93,339	99,920	75,847	77,258	1,411
リニューアル工事受注高比率（連結）（%）	52.6	53.8	54.5	51.4	55.9	4.5 pt.
<参考>リニューアル工事売上高（連結）	98,024	96,468	96,325	62,858	63,444	586

*非連結子会社の三机建筑工程（上海）有限公司は、海外工事受注高に含まない。

【受注】 主な大型受注物件

- 横浜銀行本店
（空調設備工事）〈改修〉
- NKCながいグリーンパワー発電施設
（空調設備工事）〈新築〉
- 武田薬品工業 光工場
（空調設備工事）〈新築〉
- 大和市北部浄化センター
（下水処理設備）〈維持管理〉
- 川内クリーンセンター基幹的設備改良事業
（一般廃棄物処理施設）〈基幹的設備改良工事・管理運営業務〉

他5件

【受注】

SANKI

10億円以上の大型受注物件（建物用途別）

	2014年12月		2015年12月		2016年12月	
事務所	1件	9件 (16,733 百万円) *うち直接受注 2件 間接受注 7件	3件	16件 (28,026 百万円) *うち直接受注 5件 間接受注 11件	3件	10件 (31,760 百万円) *うち直接受注 7件 間接受注 3件
多目的ビル	—		1件		—	
店舗	1件		1件		—	
工場	—		3件		2件	
学校	—		1件		—	
病院	2件		2件		1件	
研究所	2件		1件		1件	
官公庁舎	1件		—		—	
廃棄物処理場	1件		3件		1件	
発電所・変電所	—		—		1件	
上・下水処理場	1件		—		1件	
その他屋内	—		1件		—	

【利益】

利益改善要因と施策

- 外部環境の改善
- 原価管理の徹底
- 現場サポート体制の整備
 - ・調達本部による購買業務支援
 - ・サイト業務支援センターによる現場業務支援
 - ・設計支援センター（2016年度4月新設）による設計業務支援
 - ・技術エキスパートによる品質監査
- 協力会社との関係強化
 - ・全国協力会連絡会の実施
 - ・三機スーパーマイスター制度の実施
 - ・三機ベストパートナー選定制度の実施

【財務状況】 貸借対照表（連結）

SANKI

（単位：百万円）

	2015年12月	2015年度末	2016年12月	前年度末対比	増減率（%）
流動資産	103,887	115,491	103,755	△11,736	△10.2
固定資産	59,026	53,931	54,598	667	1.2
流動負債	61,970	72,863	61,513	△11,349	△15.6
固定負債	15,241	12,001	12,495	493	4.1
純資産額	85,701	84,557	84,344	△213	△0.3
総資産額	162,913	169,423	158,354	△11,069	△6.5
1株当たり純資産額（円）	1,346.73	1,328.60	1,324.94	△3.66	△0.3
自己資本比率（%）	52.5	49.8	53.2	3.4 pt.	—
有利子負債（連結）	5,308	5,992	4,888	△1,103	△18.4

キャッシュ・フロー計算書（連結）

- 現金及び現金同等物の残高は、対前年度末に比べて減少（対前年同期比では増加）
- 営業キャッシュ・フローの増加は、主に売上債権の回収が進んだことによる
- 投資キャッシュ・フローの減少は、主に投資有価証券の取得による
- 財務キャッシュ・フローの減少は、主に配当金の支払いによる

（単位：百万円）

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2015年 12月	2016年 12月
営業キャッシュ・フロー	9,729	△9,403	△139	5,220	△1,383	3,837
投資キャッシュ・フロー	△9,481	△3,506	3,440	5,520	6,620	△1,452
財務キャッシュ・フロー	△1,028	△4,152	△2,901	△1,826	△2,474	△3,183
期末現金及び現金同等物	40,367	23,510	23,667	32,501	26,370	31,595

【業績予想】

2016年度 通期業績予想（連結）

SANKI

・2016年5月13日の期初予想数値から変更しておりません。

（単位：百万円）

	2016年度予想 (2月8日期中予想)
	通期 (予想)
受注高	183,000
売上高	185,000
営業利益（△は損失）	6,500
経常利益（△は損失）	7,000
親会社株主に帰属する 当期純利益（△は損失）	4,900

＜参考＞中期経営計画 “Century2025” Phase1 業績目標		
2016年度	2017年度	2018年度
—	—	—
185,000	190,000	195,000
6,500	7,000	7,500
7,000	7,500	8,000
—	—	—

【受注予想・売上予想】

SANKI

2016年度 セグメント別受注・売上予想（連結）

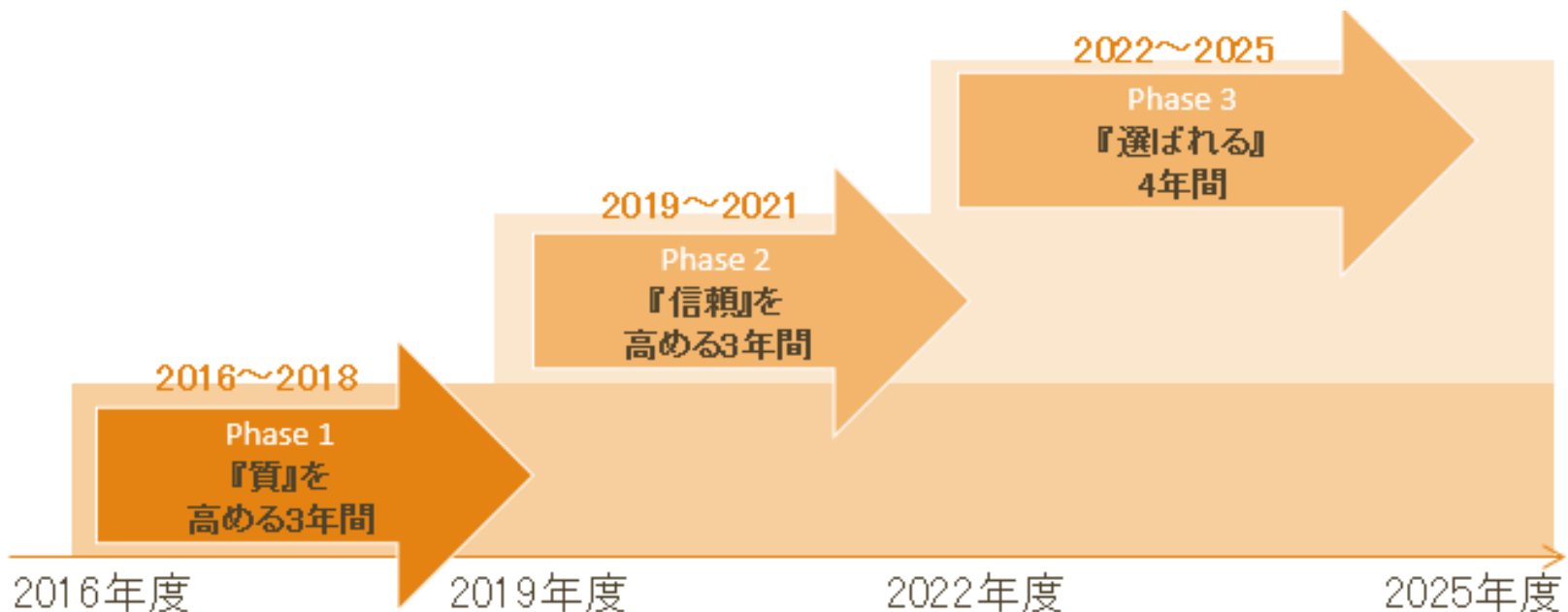
（単位：百万円）

セグメント		2016年度 受注高予想 （2月8日期中予想）	2016年度 売上高予想 （2月8日期中予想）
建築設備	ビル空調衛生	64,900	70,900
	産業空調	52,000	52,000
	電気	19,000	22,000
	ファシリティシステム	10,000	10,000
建築設備 計		145,900	154,900
プラント設備	機械システム	9,500	9,500
	環境システム	26,000	19,000
プラント設備 計		35,500	28,500
設備工事 計		181,400	183,400
不動産		1,600	1,600
その他		500	500
調整額 *		△500	△500
合 計		183,000	185,000

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

長期ビジョン“Century 2025”

10年間で「質」と「信頼」をさらに高め
お客さまから もっと「選ばれる会社」を目指します



- Phase1⇒変化に対応できる土台として 技術と英知を磨き 人を育て 「質」を高めます
- Phase2⇒高い「質」がお客さまの満足を生み 満足・安心から「信頼」へと前進します
- Phase3⇒高めた「信頼」で より多くのお客さまから「選ばれる」会社に進化します

中期経営計画“Century 2025” Phase1

重要課題と戦略

1. 技術力の継承

三機大和ビル（神奈川県大和市）を一部改装し、三機工業グループの根幹である「技術力」を次世代に継承・発展させるべく、総合研修施設「（仮称）三機テクノセンター」としてリニューアルします。

2. ストック時代への備え

「SANKI VITAL PLAN 90th」で打ち出したLCE事業をさらに推進し、将来、建設市場が減少した場合でも安定した経営が継続できる事業基盤を固めていきます。

3. 次世代技術開発

ロボット、IoT、人工知能等の新技術の発展を確実にキャッチアップし、次世代の技術開発を行う新たな研究開発拠点を「（仮称）三機テクノセンター」内に整備します。

三機大和地区再開発計画の全体像 (STeP : Sanki Techno Park計画)

SANKI

当社保有不動産である三機大和地区（三機大和ビルおよび大和事業所、いずれも神奈川県大和市）の土地・建物の再開発

1. Sanki Techno Centerの構築
2. 機械システム製造工場の再編
3. 保有資産の有効活用

Sanki Techno Centerの概要

<ありたい姿>

中期計画“Century 2025” Phase1
技術と人の「質」の向上

<課題>

人財

- ✓ 技術・技能の向上・継承
- ✓ 協力会社を含めた育成

施設

- ✓ 研修施設の拡充
- ✓ 実機による教育ニーズ
- ✓ 教育研修場所・機会の集約

<教育研修施設>

- 豊富な研修ルーム
- 地下大空間を利用した実機演習
- 技術・技能・安全の一体研修
- 高キャリア講師陣の活用
- 十分な宿泊設備

<研究開発施設>

- 次世代技術の開発拠点
- ショールームの拡張

<その他>

- 地域貢献

品質や利益率など
さまざまな「質」の向上を実現

中期経営計画“Century 2025” Phase1

ESG方針

従来の活動を有機的に統合し 戦略的に展開

	概 要
E（環境）	<p>地球温暖化対策の世界的な枠組み「パリ協定」合意や、これを受けたわが国の「地球温暖化対策推進法」等、地球環境保護はこれまで以上に重要となります。三機工業グループは事業内容そのものが地球環境保護に直結することをあらためて確認し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①主力の建築設備事業では、より効率的な空調・衛生・電気・情報通信等の各種設備・システムの開発・納入により、産業部門・業務部門の温室効果ガス排出量削減に貢献します ②プラント設備部門でも、より省エネルギーな機器の開発を推進します ③事業運営のあらゆる場面で地球環境負荷低減を意識し、ISO14000シリーズに基づく活動を推進します
S（社会）	<ul style="list-style-type: none"> ①温室効果ガス削減量に応じて環境保全団体に寄付を行う社会貢献活動「SANKI YOU エコ貢献ポイント」を継続し、植樹活動を応援します ②長時間労働対策や女性・高齢者の活躍の場の拡大など、より働きやすい職場環境を目指します
G（企業統治）	<ul style="list-style-type: none"> ①2015年12月に制定した「三機工業コーポレートガバナンス・ガイドライン」を軸に、2016年度から取り組みを本格的にスタートさせます ②取締役会を中心に、実効性を重視した内部統制システム・リスクマネジメントシステムの運用・改善を進めます ③「三機工業グループ コンプライアンス宣言」「三機工業グループ 行動規範・行動指針」および「三機工業グループ 行動基準」等の行動準則を遵守し、倫理的に行動する風土の維持・発展に努めます

将来の見通しに対するご留意事項

本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するものを除いては、2月8日時点で入手可能な情報に基づいてなされた当社の予測、想定、評価および判断によるものです。

従いまして、かかる予測等に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、当社の将来の業績、経営結果等と異なる可能性があります。

<主な要因>

- 取引先の信用リスク
- 資機材価格および労務費の急激な変動
- 株式相場の変動
- 退職給付費用および債務の増加
- カントリーリスク
- 設備工事等における事故および災害
- 不採算工事の発生
- 不動産事業におけるリスク
- 訴訟等に関するリスク
- 法的規制等によるリスク
- 自然災害の発生

本件に関する問い合わせ先
管理本部広報・IR部
TEL：03-6367-7041